

そよ風 管理者に 就任して

管理者 富永一史



東日本大震災の年に入職、今年で報恩 7 年生の「富永一史（とみながかずふみ）」と申します。

札幌報恩学園で3年・グリーンホーム厚別で3年の入所経験を経て、そよ風（通所）へ。

私事ではありますが、若い頃、通所施設にて（他の法人でしたが）、親子で収穫祭や炊事遠足等を楽しんだり、特にお歳暮の時期には、皆で箱折等の下請け作業を頑張ったり、マラソン大会や歩くスキー大会等に向けて、ともに汗を流したり、送迎バスの運転も・・・、今思えば、大変だったことよりも、利用者様の笑顔とご家族の方々の励ましがあり、楽しかったなあ～という通所時代の懐かしい思い出が今回の就任を機に思い出されました。

さて、そよ風では、昨年度から力を入れた「ご家族との懇親会や公用車でのグループ外出（動物園等）」の継続に加え、今年度は、交流ホームひまわりのホールを使っての毎週月曜日の運動クラブ（サーキットゲーム形式）と調理実習室を使っての毎週火曜日のお料理クラブ（デザート等）など、新しい取り組みが展開されております。又、物理的構造化等のアイデアを活用し、個々のニーズに合わせた、過ごしやすい環境等の提供やそよサタ（平日とは一味違った楽しい企画を用意）も含めた活動全般の見直し、そして、ご家族との交流もより一層深めていきたいと考えております。

その他、ケース研究や勉強会、研修報告会等も継続的に開催する等、これからも、より楽しく、より笑顔で過ごせるそよ風を合言葉に、チーム力の向上と、より良い支援に努めていきたいと考えております。

今回の就任に際し、大きなプレッシャーと責任を感じておりますが、微力ながら、皆様のお力添えを頂きながら、頑張っって参りたいと思っておりますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

そよ風

参観日

5月14日に参観日がありました。そよ風では、保護者様と一緒に創作を行いました。こいのぼりの型に切り取った画用紙に、保護者様と利用者様とでシールを貼ったり、ペンでうろこや目を描いたり、個性豊かなこいのぼりが出来ました。創作中は保護者様同士で子供達の話や日常の会話をしたり、職員と保護者様とで会話をしたり、そよ風では見られない利用者様の新たな一面が聞けて良かったです。参観日は穏やかな雰囲気で行進し、作成後は壁面として飾り、壁面の前で写真撮影を行いました。壁面はそよ風内を賑やかにしてくれました。（阿部早織）

